

つくば農林研究団地の桜満開

企画管理部 企画連携室情報専門役 浜田善幸

「つくば農林研究団地」の中央、農農工学研究部門正門前を通っている道路は「農林さくら通り」と呼ばれており、春になると、道の両側に植えられた約 500 本の桜が見事な花を咲かせます。今年は 4 月の第 2 週から咲き始め、第 3 週の 10 日が天気も良くて今年一番の花見日和でした。

農林団地の桜は、筑波研究学園都市建設当時の昭和 50 年の 2 月から 53 年 2 月にかけて植栽されており 40 年が経過しています。農林水産省農業土木試験場(農村工学研究部門の前身)にも神奈川県平塚市から移転した昭和 52 年の 2 月に 46 本の桜の木が植栽され、桜の開花の時期は場内のあちらこちらで美しい花を咲かせています。



4 月 7 日農林さくら通り①



4 月 7 日農林さくら通り②



4 月 12 日 農村工学研究部門前



4 月 6 日 農村工学部門本館



4 月 6 日農村工学部門頭首工第 1 実験棟前
(撮影者：技術移転部移転推進室 小倉・笹倉)